

平成 22 年 4 月

新総合計画の策定に向けた審議会会長の所見

前回の審議会において、基本構想の構成や「都市像」等についてご議論いただいたが、「仙台らしさ」、「都市像の視点」、「人口」、「目標の設定」や「横串の視点」、「部門別計画改定との整合」など、基本計画レベルのご意見もいただいた。

これまで基本構想を詰めてから基本計画を審議していくということで、基本構想を中心に議論を進めてきたが、議論の進捗などを勘案すれば、基本計画の作業を進め、双方をすり合わせるが必要になっているものと感じている。

これらを踏まえ、副会長や起草委員長とも相談したところ、「議論の進捗を考えれば、そろそろ基本構想と基本計画を並行的に審議したほうが内容の整合を図れることに加え、市役所において進行中の部門別の主要計画改定との整合も図りやすい」ということで意見が一致した。

そこで、審議会の経過を踏まえて「4つの都市像」の方向を基本としつつ、基本構想と基本計画を並行的に調整できるよう、まずは総合計画全体の構成や内容の骨子づくりの作業を急ぐこととし、検討の進捗等を踏まえながら、基本構想・基本計画の構成や内容を適宜修正していくこととしたい。

なお、起草委員会に付託しているのは基本構想素案の取りまとめであることから、一旦審議会に審議を戻さなければならないが、その際議論の基となる「基本構想と基本計画の構成」や「審議会の進め方」等の資料が必要と思われるので、事務局案を基に次回起草委員会において調製していただくこととしたい。

以上の点について、起草委員会委員のご了解を前提として、4月28日に予定していた第5回起草委員会を5月12日に延期し、ここで基本構想・基本計画の全体像などについてご意見を伺うこととしたい。その後、できれば5月下旬には審議会を開催し、議論を深めてまいりたい。